

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数に対し十分なスペースがある施設であり、小集団活動と個別対応を使い分けしながら活動することが出来ている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じた適切な配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			適切に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員間で日々の業務を振り返り、改善点を話し合って業務を遂行している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表等を活用し、保護者の意見を把握しながら業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師に評価を頂き、評価結果を業務改善に活かしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修会を行い、資質向上に努めている。外部研修への参加も行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間できよく話し合い、個々の姿や課題を捉えた計画書の立案を心がけている。保護者様の意向を丁寧に聞き取り、計画書作成に活かしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者様の特性の把握や能力の情報を得る為に有効に活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内、他教室との連携を取って行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員間で話し合い個々の様子を踏まえて計画をしている。季節感に合った内容も考慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇はイベントや野外活動等活動内容を設定し準備や反省を丁寧に言いながら取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者様の特性や個性を理解し、職員間で話し合い状況を把握しながら計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前にはその日のスケジュールや職員の気づいた点を話し合い、支援内容や役割分担を確認をするようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後または、翌日の支援前に振り返りを行い、情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援についての記録をとり、支援方法を再検討していく際に参考にしながら支援の改善に繋げている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施し、支援や計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則や教室の特性に沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			教室内でふさわしい職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校からのお便りや送迎時対応頂く先生との情報共有共有にて確認や調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は該当なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学時に担当者会議を行い、適切に対応している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時に連絡を取り合っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は実施していないが、今後交流する機会を持てるようにしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			こども部会へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に日々の様子を丁寧に伝えるように心がけたり、面談を設定し様子を伝え合う機会を持つようにしている。必要に応じて連絡ノートを活用している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			茶話会を開催し、ペアレントメンターとの意見交換を行う等の支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時の説明、利用のしおりやパンフレット、ホームページ等で情報を公開している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お迎え時や送迎時に保護者様と情報共有をしている。必要時には、面談や療育相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年、保護者会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談があった場合は迅速に対応するようにしている。職員間で内容の共有、相談を行い適切に対応出来るように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一回、メグシ通信を発行している。教室お便りも発行し、活動報告や予定等の情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			社内で研修会を行い共有しながら、個人情報の取り扱いには十分注意をしている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の特性を理解し配慮しながら意思疎通や情報の伝達を行うように心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			新教室完成時の内覧会に来ていただいた。今後も地域の方々と交流を持てるように努めたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			毎月1回の訓練を行っている。社内研修を実施しマニュアルの把握や理解を深めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、地震、火災、水害等内容を変えながら防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の社内研修を行い、また社内に対策チームを作り対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	事例はまだないが、職員間で共通理解をしながら事前の説明を丁寧に行った上で了承を得るようにしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様からの情報に基づき、個別に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を職員で共有し、環境の改善等対応をとっている。